

世界の列車トイレ ーチュニジャー

NPO 21世紀水倶楽部

清水 洽

昨年の暮れ、チュニジアの観光列車レザー・ルージュ（赤いトカゲ）に乗るツアーに出かけましたが、残念ながら3ヶ月前に起きた大雨で運転は中止されていました。路床が流れたため、何時復旧するかは判らないそうです。そこで今回は列車に乗らずに、レールの側からの報告です。

カスバで知られているチュニジアは地中海に面した北アフリカにあり、チュニジアのボン岬はイタリアのシチリア島から100km西に位置しています。国土は日本の2/5の広さで、1022万人の人が住んでいる比較的豊かな国です。石油も質が悪いものの自国で調達でき、大麦小麦やオリーブ、‘なつめやし’などを輸出する農業国です。特に観光に力を入れており、カルタゴ時代（紀元前3世紀～前814年）からローマ文化、イスラム文化などの世界遺産があります。

一方、鉄道はフランスの植民地時代に整備されSNCFがチュニスのバルセロナ駅を中心に5路線運行されています。首都のチュニスとサハラ砂漠の入り口トズール間には夜行列車も運行されています。いずれもディーゼル機関車による列車運転で、もちろんトイレは垂れ流しのようです。



写真一1 スース駅構内の通勤用の列車。09.12..14



写真一2 スース駅の発車を待つ1、2等列車 09.12.14



写真一3 通勤列車を牽引するディーゼル機関車 09.12.14



写真一4 通勤用車両の1等車両と2等車両 09.12.14



写真一5 1等車の手前の端にあるトイレと反対側にトイレがある2等車両 09.12.14



写真一6 チュニス〜ラ・マルサ間の郊外電車シティ・ブ・サイド駅にて
トイレは付いていませんでした。 09.12.15



写真ー7 シティ・ブ・サイド駅を発車したチュニス行き電車

シティ・ブ・サイドはチュニジアのリゾート地で立派な屋敷が建っていました。09.12.15



写真ー8 チュニス市内の路面電車 09.12.15

参考文献

- 1) 地球の歩き方ーチュニジアー2008～2009年版 (株)ダイヤモンド・ビッグ社
2008年7月11日発行